

計測・分析機器メーカー

トップが語る技術・製品・戦略

東京都西部に位置する多摩地域が産業クラスターとして脚光を浴びている。人口約420万人を擁し、都心からのアクセスも良好。モノづくり関連企業が集積し、製造品出荷額は4兆5992億円(2010年速報値)と、区部の3兆4592億円を上回る。大企業や大学の研究開発拠点多く、技術力に優れた開発型や試作対応型の中堅・中小企業、ベンチャー企業がひしめき、中でもモノづくりに不可欠な計測・制御・分析、検査を手がける計測・分析機器各社は、オンライン技術を生かしてグローバル市場へ挑む。有力企業各社に景況や需要見通しを踏まえ、経営方針や事業戦略などを聞いた。

共和電業



星 淑夫 社長

ひずみゲージの国産化第1号企業である共和電業。その技術を活用した応力計測の総合メーカーとして、産業界の高度・多様化する計測・制御ニーズに応えている。第3次中期経営計画「G K I C」の最終年、2012年12月期は売上高140億円、うち海外向けが15億円を計画。目標達成へ新製品23機種を市場投入するほか、製品開発の専門部署を新設する。

足元の受注状況は、「13月は自動車メーカーからの受注が4月以降にずれ込む一方、電機や機械業界の設備投資が動き出した。洋上風力発電向けの引き合いも強い。復興需要関連は民間向け計量ソフトウェアの復旧が先行し、今後はがれき処理に関する計測需要も見込める」。

12年12月期に売上高140億円、経常利益10億5000万円を達成するためにには何が必要ですか。「利幅が大きい汎用製品の販売を増やす。新製品はセンサー7機種、計測器16機種の計23機種

新製品23機種を投入 市場創造へ専門部署

「過去に販売した顧客の更新需要も取り込む。鉄道関連では列車向け熱検知システムの引き合いが堅調だ。時速80km/hの高速に対応できる料金自動

うち海外の競合企業と互角以上に戦える「グローバル製品」は7機種で、例年以上に目玉製品が多い。新製品は技術者が同行して営業する。大型汎用製品は提案営業とデモ

地の人脈を充実するとともに、内陸部開拓など地域戦略が必要だ。また東南アジアではタイの現地法人を活用し、マレーシアの自動車研究機関などをターゲットに販路を広

エンドレスハウザージャパン



黒坂 純 社長

新中計5カ年計画「戦略2015+」で好スタートを切ったエンドレスハウザージャパン。1年目の11年12月期は売上高が前期比10%増の53億円に伸長した。顧客の抱える課題解決など提案営業を積極的に推進中だ。今後もエンドレスハウザーグループの製品開発力や海外展開時のサポート力を強みに、「国内企業への役に立つパートナー」を目指す。

足元の工業用計測機器業界の景況感は、「昨年日本大震災の影響や欧米経済の減速、円高の長期化など日本企業には厳しい経営環境だった。今後、日本の国内総生産(GDP)の伸びが良く横ばいと思われる中で、工業用計測機器の業界も大きな伸びは望めない。食品業界は比較的堅調だが、主要顧客である石油精製、化学

の各業界は減産に伴い設備投資が下火となっている。当社の顧客も海外展開に動いており、このサポートに注力している」。

新中計の2年目である12年12月期の経営目標は、「もともと新中計は国内市場が横ばいの中で、15年12月期まで継続して年率5.6%の成長を掲げている。今期の売上高目標は前期比6%増の56

エネ管理で効率改善 校正ビジネスも強化

例えば、個々の顧客の事情に応じてコスト削減を促したり、効率改善を提案したりする。営業マネージャーの提案能力を高める必要がある。具体的な施策をお聞

「お客さまが求めるものを理解し、提案すること」に尽きる。「カスタマー・パルナー・プロボジョ・ソリューション(EMS)」を提供する、ソリューショングループ内に

の定期的な校正が求められる。当社は流量計の要求が多いが、圧力計など対応機器を広げて顧客に提案する」。

受注堅調で増収予想

東京・多摩地域の計測・分析機器メーカー

社名	売上高	経常利益
横河電機(武蔵野市)	3,360 (3.2)	120 (39.7)
日本電子(昭島市)	830 (10.3)	5 (▼1.0)
東京精密(八王子市)	560 (12.7)	88 (45.9)
リオン(国分寺市)	169 (1.2)	12 (▼8.0)
※共和電業(調布市)	140 (7.3)	10 (17.9)
国際計測器(多摩市)	110 (2.2)	19 (20.6)
ニレコ(八王子市)	71 (5.1)	3 (8.6)
※アルチザネットワークス(立川市)	18 (58.8)	0.3 (-)

単位は億円。カッコ内は前年同期比増減率、▼はマイナス。
※共和電業は12年12月期見通し。
※アルチザネットワークスは12年7月期見通し。(26日作成)

輸出がけん引、提携も加速

11年度の計測機器(分析)と機器ごとに明瞭が分かれた。電気測定器では無数の影響を受けたものの回復基調にある。日本電気計測器工業会(JEMIMA)によると、4月12月の電気計測器の生産高は35.8億円(前年同期比2.5%増)。7月9日に120.5億円(同4.5%減)と落ち込んだが、10月12月は103.5億円(同5.3%増)と増え現在は増勢基調が続く。電気測定器は1917億円(同4.2%)、工業用計測制御機器は981億円(同5.2%)の増加が主因だ。

連携で産業活性化

「多摩地域の計測・分析関連企業、大学の連携で新市場を創出しよう」。東京と東京都中小企業振興公社は09年11年度に「計測・分析機器産業コミュニティ活性化事業」を実施した。具体的には計測・分析機器の人材が交流・連携する場(産業コミュニティ)を形成し、そこから生まれプロジェクトを支援するまでに目標の10を上回る23

が誕生。3年目の11年度は「高精度変位センサーの開発」「エコー分析装置の実用化」など5つのプロジェクトを支援した。プロジェクト分析装置では成分分析の仕様のすり合わせ、サンプル評価、ニーズの取り込みを支援し、製品が完成するなど成果も出ている。東京都は12年度もプロジェクト支援の継続を決定。多摩地域の企業を巻き込み、計測・分析関連の新事業創出を目指す。

会社データ

本社 東京都調布市調布ヶ丘3-5-1
設立 1949年6月28日
資本金 13億900万円
売上高 130億円(11年12月期)
従業員 767人
事業内容 ひずみゲージ、各種変換器、測定器、データ処理装置、計測システムなどの開発、製造、販売

会社データ

本社 東京都府中市日新町5-70-3
設立 1955年6月13日
資本金 10億5840万円
売上高 53億円(11年12月期)
従業員 173人
事業内容 流量計、レベル計、タンクゲージ、圧力計、水質分析計など工業用計測機器の製造・販売

計測と制御を通じて安全と安心を提供する技術創造企業

高速データロガー
UCAM-550A
FAST DATA LOGGER

全チャンネルを同時サンプリング(最大1000チャンネル)
サンプリング周波数最速50Hz

株式会社 共和電業 www.kyowa-ei.co.jp/

エンドレスハウザーの工業用計測機器をご存知ですか。

国際的な実績を誇るエンドレスハウザーグループの総力を活かし、化学、石油化学、食品、医薬品、水処理、エネルギー、紙パルプなど各産業分野に最適な計測制御機器・ソリューションをご提供いたします。

プロマSP
ライフサイエンス産業向け
コリオリ質量流量計および密度計
ASME DPE, ISPE, FDA, EHEDG, 3-AI準拠

リキフアントM
液体用非接触式レベルミットスイッチ
国内世界No.1の実績、校正・メンテナンス不要、可動部なし、損耗なしで長寿命

メモセンス
水処理・食品・電力・製薬産業向け
世界初の非接触式デジタル信号/電圧伝送電極

資料のご請求に関しては、エンドレスハウザー ジャパン(株)にご連絡下さい。

本社 TEL: 03-0036 東京都府中市日新町5-70-3
TEL: 0423(31)9111
FAX: 0423(31)9151
URL: http://www.e-endress.com/
e-mail: info@e-endress.com

Endress+Hauser
People for Process Automation
エンドレスハウザー ジャパン株式会社